

# 里見地区小域福祉ネットワークだより

令和6年3月号  
里見地区小域福祉ネットワーク推進委員会  
発行責任者 武内 博文

令和6年2月1日  
現在（里見地区）  
人口 1,175 人  
男 575 人  
女 600 人  
世帯数 641 世帯

1月元旦の能登半島の大規模な地震には、びっくりしました。1000年に一度の地震とすることで、想像を絶する被害に見舞われました。当里見地区内で胸まで土砂に埋まり24時間後に救出される土砂崩れがあり家が倒壊したことも驚きでした。自然災害やコロナ感染の拡大で、今までの人とのつながりが疎外され孤立する人が多くなっています。私たちは人とのつながりを大切と思い、見守り事業や見守り対象者との交流事業を続けていくとともに、「健康祭り」や日頃の生活課題に取り組んでまいります。1年間ご協力ありがとうございました。（会長 武内 博文）

## ◎ 令和6年2月17日に行われた啓発事業について

（テーマ）令和5年9月の台風13号による被害者の安否確認及び支援活動について

月出町会中村正昭町会長、市原市消防団加茂支団篠田忠義支団長、市原市消防局南総消防署加茂分署石橋副分署長、千葉縣市原警察署地域課（里見勤務）駐在所川名祐介巡査部長当日救出された関係者に現場の状況や今後の心がけなどを話していただきました。

8日の猛烈な雨でいたところが土砂崩れや倒木で道路がふさがれている中で、電話による安否確認ができないという焦りがあり必死で家にたどり着いた。家の中に土砂が入り込み胸まで埋まる状況だったので、携帯電話が届く高台まで行き消防署に救援を依頼した。

**状況**①現場は携帯電話が圏外であった。

②土砂崩れや倒木で車が使えず歩いて30分ぐらいかかった。

③一人暮らしであったので助けを呼ぶことができなかった。

④隣の家から離れていた。

⑤町会長と組長の2名や消防団員は2次災害に注意しながら作業した。

**今後**①親戚の家に身を寄せられるよう関係を作ろう。

②隣接の家同士の安否確認が重要である。

③町会や組での連絡網で速やかに安否確認できるよう心掛けよう。



## ○加茂地区社会福祉協議会が主催、小域福祉ネットワークが運営する2事業を紹介します。

### ●日常生活支援事業

「草刈り助け合い作業活動」について

#### ① 事業内容

自宅庭の草刈り作業。

#### ② 支援対象者

75歳以上の高齢者世帯・身体の不自由者世帯及び安心生活見守り支援者

#### ③ 草刈り期間

5月から10月（期間内3～4回）

#### ④ 草刈り作業実施者

小域福祉ネットワークの推進員・役員・ボランティア

### ●共生型サロン（里山サロン）

年齢や性別、障害の有無に関わらず、地域の身近な場所で誰もが気楽に集い交流するサロン。

#### ① 実施主体

市原市社会福祉協議会

#### ② 利用者

市原市に居住する者

#### ③ 費用負担

100円（予定）

#### ④ 開催場所及び開催日等の詳細は

チラシを作成してお知らせします。

裏面もごさいます。

## 令和6年度里見地区小域福祉ネットワーク事業計画(案)

期 日	曜日	会 議 及 び 事 業 名
年 間	毎月	安心生活見守り支援事業
4月19日	金	第1回役員会（予算・決算・総会資料について）
5月25日	土	推進委員会総会（1回）（基礎研修）18：30～
6月14日	金	第2回役員会（安心訪問員マニュアル研修）
7月下旬		推進委員会（フォローアップ研修）
9月6日	金	第3回役員会（ネットワークだより発行）
10月18日	金	第4回役員会（健康祭り）
11月		安心生活見守り支援事業 交流事業（弁当配布）
11月22日	金	健康祭り（体力測定・口腔ケアの話・ヨガ等）
1月24日	金	第5回役員会（啓発事業・交流事業について）
2月		安心生活見守り支援事業 交流事業（弁当配布）
2月15日	土	推進委員会（3回）啓発事業
3月7日	金	第6回役員会（ネットワークだより・事業計画及び決算）

※ 表記以外に、今年度から加茂地区社会福祉協議会主催の「里山サロン」を里見地区でも計画しております。だれもが気楽に参加できるサロンを目指しております。そこにはブランコなどの運動器具や散歩もできるような時間を設けるとともに、「とくし丸」や「福祉施設のパン」の販売なども盛り込みたいと思っています。

### 100年後芸術祭

旧里見小学校で3月23日から5月26日まで開催されます。春の暖かさに誘われて出かけてみませんか。散歩やちょっと出かけた時に寄って見てはいかがでしょう。新たな楽しみが生まれるかもしれません。

100年後の市原は！

### あとかき

里見地区の人口もあと3～4年で1,000人を切る状況になってきました。相続のこと・空き家のこと・庭の手入れや田畑の草刈り等様々な問題が怒涛のように押し寄せてきています。次年度は新たに「草刈り助け合い作業活動」と「里山サロン」を取り組む予定しています。皆様が少しでも安心して暮らせますよう里見地区小域福祉ネットワークは務めてまいります。ご協力よろしくお願いいたします。